

事業名称	第237回 中国本部 青年技術士交流会 例会		
開催日時	令和7年6月11日（水）19:00-20:45		
開催場所	第3ウエノヤビル6階 中国本部会議室		
参加人数	36名（内訳：会場14名、オンライン22名）	CPD	1時間0分
事業内容	<p>1. 講演会 19:00～20:15</p> <p>「魅せる！授業の技術」講師：関口芳弘氏（技術士：電気電子部門） 講師は、15年に渡り年間30回以上、親子で学ぶ科学技術の出前授業を開催されている。理科教室の取組み背景、授業進め方、テーマ・内容の工夫、子供を飽きさせない仕掛け・構成、考えること・外れても良い事・興味を広げること・好きな事・面白さ・ドキドキを大切にする点の解説を受けた。論理的で子供視点にフォーカスした取組みが他に類を見ず、学びがあった。</p> <p>◆質疑応答：出席者から活発な発言あり、質疑抜粋は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子参加で1つのネタ。子供同士はNG(理解温度差)。どんな子供でも手を動かす。説明+親サポート。うまくいかないときは講師フォロー。 ・中学生・高校生でも授業に違い/支障無し。受け止め方違って良い。 ・計算を使った理科教室例として、地球の重さを重力加速度を用いて計算する授業実施経験あり。四則演算の大切さを実感。小6以上対象。 ・毎年参加の子がいてもテーマ重複不問。年齢で理解や気づきが異なる。 ・授業時間は最大90分、子供も講師も疲れる。大学授業と同じと褒める ・材料費～500円/家族、主催者が準備。原理/基礎的授業で、工作しない ・長時間/複数ステップ作業させない。小刻みな活動とし(手を動かす→説明の繰り返し)、飽きずにできる。意外なものが出る。 <p>2. 定例会 20:20～20:45 連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有志勉強会（川本）6/15 7:00～9:30 ・2025年度年次大会・60周年記念大会 7/12（土） ・社会貢献活動8/24「にぼしで分かる生物のしくみ(仮)」講師：関口様 ・次回7月例会+近畿青技懇コラボ 7/26(土)13:00～17:00 <p>講演会1：河本良太氏 車両メーカーの観点からみた鉄道車両の話 講演会2：鶴飼裕美氏 特装車両の製造現場から見る受注生産の課題</p>		
備考	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: right;">会場とオンラインの様子</p>		
報告者	所属 氏名：中国本部 青年技術士交流会 委員 田川文武		